

# 今後の災害に備え、円滑な被災地外居住者の支援 に向けた自治体間の連携を考える

～被災時自治体と居住地自治体との円滑な情報共有・情報提供に向けて～

## 1. 開催趣旨

平成30年7月豪雨災害においては、借上型応急仮設住宅を利用する世帯が平成30年11月ピーク時には3,117戸にも上り、居住場所も県内の13市町に点在していました。被災時とは異なる市町村で生活している世帯の中には、被災地の行政や社協等による支援だけではなく、現居住地での支援を必要としている世帯があり、被災世帯の生活課題とニーズを起点とした資源の調整・開発が求められていました。

そのような中で、これまで、県内どこに住んでいても切れ目なく必要な支援を受けることができる体制整備に向け、自治体連携会議にて現状・課題の共有と必要な対応策を協議し、前回の第6回会議では、被災地外居住者支援の取組を振り返り、切れ目のない円滑な支援を展開するためには、自治体間の支援窓口の必要性やインフォーマルな支援の窓口として社協の役割が求められることの共通認識が図られたところです。

今後の災害時の切れ目のない円滑な被災地外の居住者支援を展開するためには、今回の被災地外居住者の支援の実践から見てきた課題について、実際に取り組んだ自治体と課題共有や必要な対応策の合意形成を図り、県域として教訓を整理しておく必要があると考えています。

第7回会議では、実際の取組や見てきた課題から切れ目のない支援の展開に向け、支援引継ぎが必要なタイミングで円滑にできる状態を早期に構築し、被災時自治体と居住地自治体間の連携によるスムーズな支援が展開できるために必要な方策について協議することを目的に開催します。

<本会議の目標>

- ・支援引継ぎが必要なタイミングで円滑にできる状態を早期に構築し、被災時自治体と居住地自治体間の連携によるスムーズな支援が展開できるための方策について共有が図られる

2. 開催日時 令和4年 **1月18日** (火) **13:30～16:00** (受付13:00)

3. 開催場所 マービーふれあいセンター 1階 リハーサル室  
(岡山県倉敷市真備町箭田40-1 TEL 086-698-9111)

4. 参加対象 被災時の居住市町村から他市町村に転出または避難(居住)している  
要継続支援被災世帯の居住地による支援に取り組んだ9市町\*の  
行政職員 \*倉敷市、総社市、岡山市、玉野市、笠岡市、井原市、  
浅口市、矢掛町、勝央町

5. 参加申込 1月14日(金)迄にFAX又はE-Mailで別紙にてお申込ください。

6. その他 新型コロナウイルスの感染状況等により、開催方法やプログラム等を一部変更することがあります。その場合は、参加申込者へメール等でお知らせいたします。

7. 開催日程 \*参加者の状況等により一部プログラムの変更を行うこともあります。

時間	内容	担当等
13:00	受付	
13:30	【はじめに】 開会 会議の目的・目標の共有	岡山県被災者生活支援室 岡山県くらし復興サポートセンター
13:40	【課題提起】 被災自治体と居住自治体との連携による切れ目のない支援に向けた課題の提起	岡山県くらし復興サポートセンター
13:50	【被災時自治体と居住地自治体との連携による切れ目のない支援が展開できるための方策協議】 ・早期の切れ目のない被災地外居住者の支援 ・支援の引継ぎ先のない世帯の支援や引継ぎ ・個人情報提供同意  *途中休憩あり	岡山県くらし復興サポートセンター コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栗原 英文 氏 ・倉敷市被災者見守り支援室 ・倉敷市真備支え合いセンター ・総社市被災者寄り添い室 ・居住地支援に取り組んだ行政
15:45	【まとめ】 円滑な被災地外居住者支援に向けた自治体間の連携に向けて	岡山県くらし復興サポートセンター アドバイザー コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栗原 英文 氏
16:00	閉会	

## 8. 主催・お問い合わせ

岡山県くらし復興サポートセンター（担当：西原）

TEL：086-226-2830 FAX：086-225-6602 E-mail：kurashi@fukushiokayama.or.jp

岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会内